

問 給食センターの建設費用の総額は

答 現時点で、9億2344万9880円



太田伸子 議員

【学校給食センター建設】

建設に係る土地の取得、及び建設費用総額は。

答 村長補償費を含めた用地取得に3023万円、用地測量や地盤調査を含めた設計に1955万9880円、工事請負費と施工管理委託料に8億1345万6千円、舗装工事、コンテナ車、厨房器具等の購入に6020万4千円、現時点での総額は9億2344万9880円です。

問 建設に活用する補助金の名称及び課せられる縛りは。

答 村長学校施設環境改善交付金で、公立の義務教育諸学校について、学校給食の普及

充実及び安全な実施を図ること以外には活用できないものとしてしています。

問 9億2千万円以上の事業に、交付金が4900万円しか来ない。義務教育の小学校の給食しか使えない交付金は返上して、高齢者の配食、白馬高校や幼稚園の給食など縛りの無い、広く活用できる給食センターを作る考えは。

答 村長国にお願いしたものを返上は無理だと思っています。大きなお金をかけるのですから、今後は検討していく必要があるかと思っています。

問 委員会の今後のテレビ放送は

答 映像ではなく、議事録として公開

【観光振興のための財源確保検討委員会】

問 委員の選定に偏りがあるのでは。

答 村長条例において、委員数は8名以内、構成は学識経験者、事業者、観光協会、商工会と、総じて平均にいろいろな団体から選んだと思っています。

問 会議は公開で行うと聞いていたが、途中から撮影テレビ放送が断られた理由は。

答 村長テレビでの取材は、あらかじめ会議の冒頭のみと決めていました。一般論ですが、委員の自由な意見が出てくれないなどと言われることもあり、活発な意見を出していただけない冒頭のみとしました。

問 大勢の傍聴者があり村民の関心も高い委員会です。万人の理解を得るためにも公開で行うのであればテレビ放送の検討をお願いしたいと思います。

答 総務課長事務局としては、映像ではなく、議事録をできる限り早めに公開するという事で同様のスタンスを考えています。

問 任期4年間の検証は

答 被災から3年でほぼ復旧完了

【村長の任期満了】

問 任期満了を迎えるが、4年間の検証と、2期目への政策は。

答 就任3ヶ月に大震災が発生し、生活基盤や産業基盤の復旧に昼夜を問わず、全力で対応しました。この災害への対応については、一定の評価はしていただけと思っています。2期目の政策については図書館の基本構想策定、道の駅の建設については今回実施した国土交通省の先導的官民連携事業により、地元経済の活性化に向けて官民連携システムをめざすこととし、事業全体の組み立てに調査・検討し参りたいと思っています。



建設中の給食センター（床固め工事）